

# 2014年度 第2四半期決算説明資料

2014年11月4日

株式会社UACJ



**1. 2014年度上期業績**

**2. 2014年度業績見通し**

**3. トピックス**

# 1. 2014年度上期業績

## 上期経常利益 117億円

- 販売面は概ね堅調
  - ・ 消費税増税の影響は限定的
  - ・ 8月以降の天候不順の影響はあったものの、需要は総じて順調に推移
  - ・ LNG船向け厚板も予定通り好調
- 統合効果累計150億円 / 年の達成に向け、諸施策を着実に推進中
- 電力・燃料単価上昇が収益を圧迫しており、厳しい状況
- 地金価格上昇に伴う棚卸資産関係の影響により、経常利益は増加

## 中間配当 3円 / 株

- 当初予定通り、中間配当3円 / 株を実施

# 2014年度上期業績

(単位:億円)

	2013年度上期 (旧両社合算ベース) (A)	2014年度上期 (B)	増減 (B) - (A)
連結売上高	2,665	2,806	141
連結営業利益	121	131	10
連結経常利益	97	117	20
連結当期純利益	35	56	21

\* 旧両社合算ベース ... 旧古河スカイと旧住友軽金属工業の合算  
(TAAHは持分法適用会社から連結子会社に単純組替)

# セグメント別売上高・営業利益

(単位:億円)

	2013年度上期 (旧両社合算ベース) (A)		2014年度上期 (B)		増 減 (B) - (A)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	2,093	130	2,207	133	114	3
伸 銅 品	238	5	261	6	23	1
加工品・関連事業	696	15	789	20	93	5
( 調 整 額 )	361	29	450	28	89	1
合 計	2,665	121	2,806	131	141	10

# 連結経常損益分析

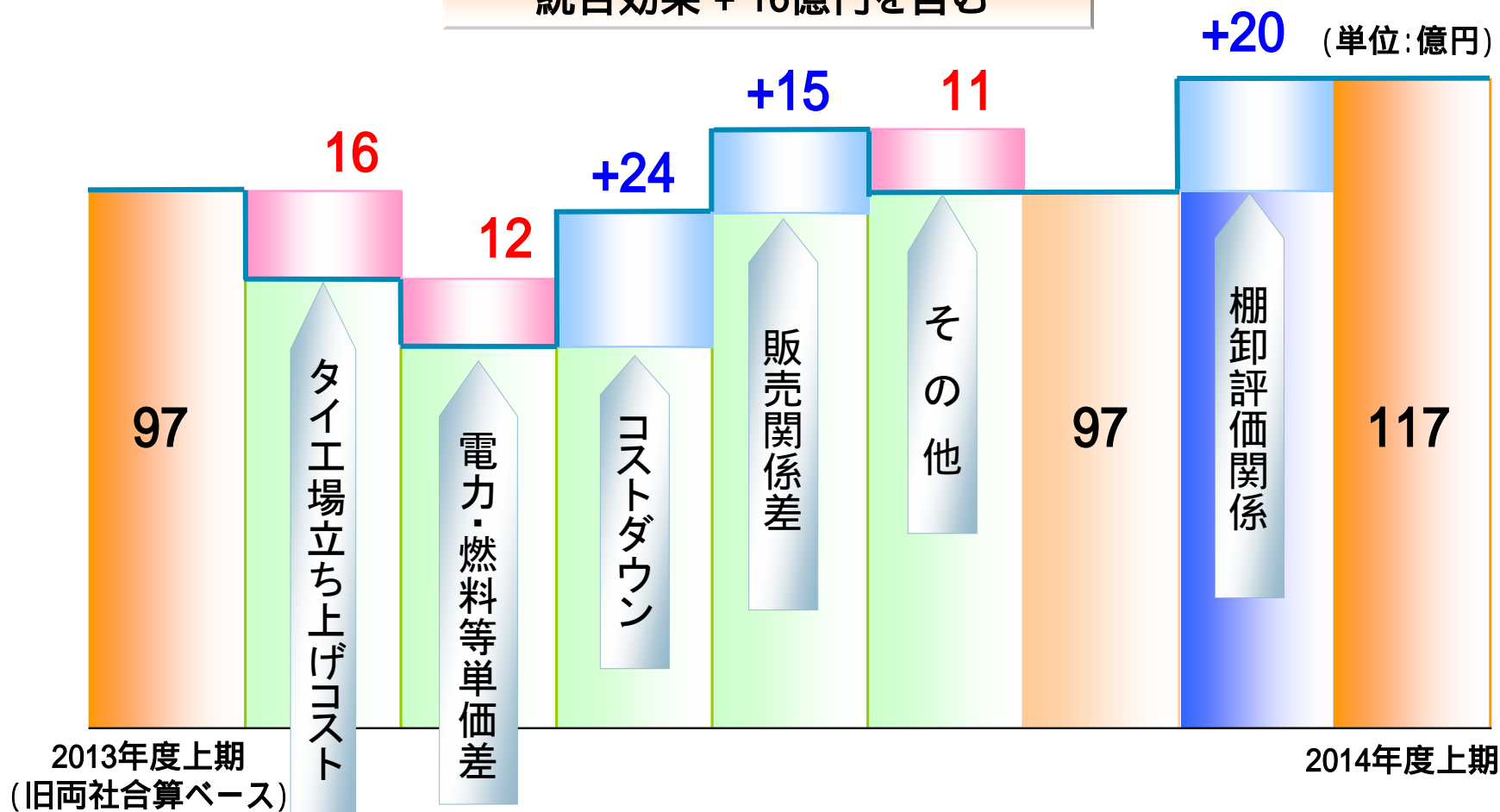
(2013年度上期 旧両社合算ベース 2014年度上期)



97億円 (2013年度上期 旧両社合算ベース)

117億円 (2014年度上期)

統合効果 + 16億円を含む



# アルミ板 品種別売上数量

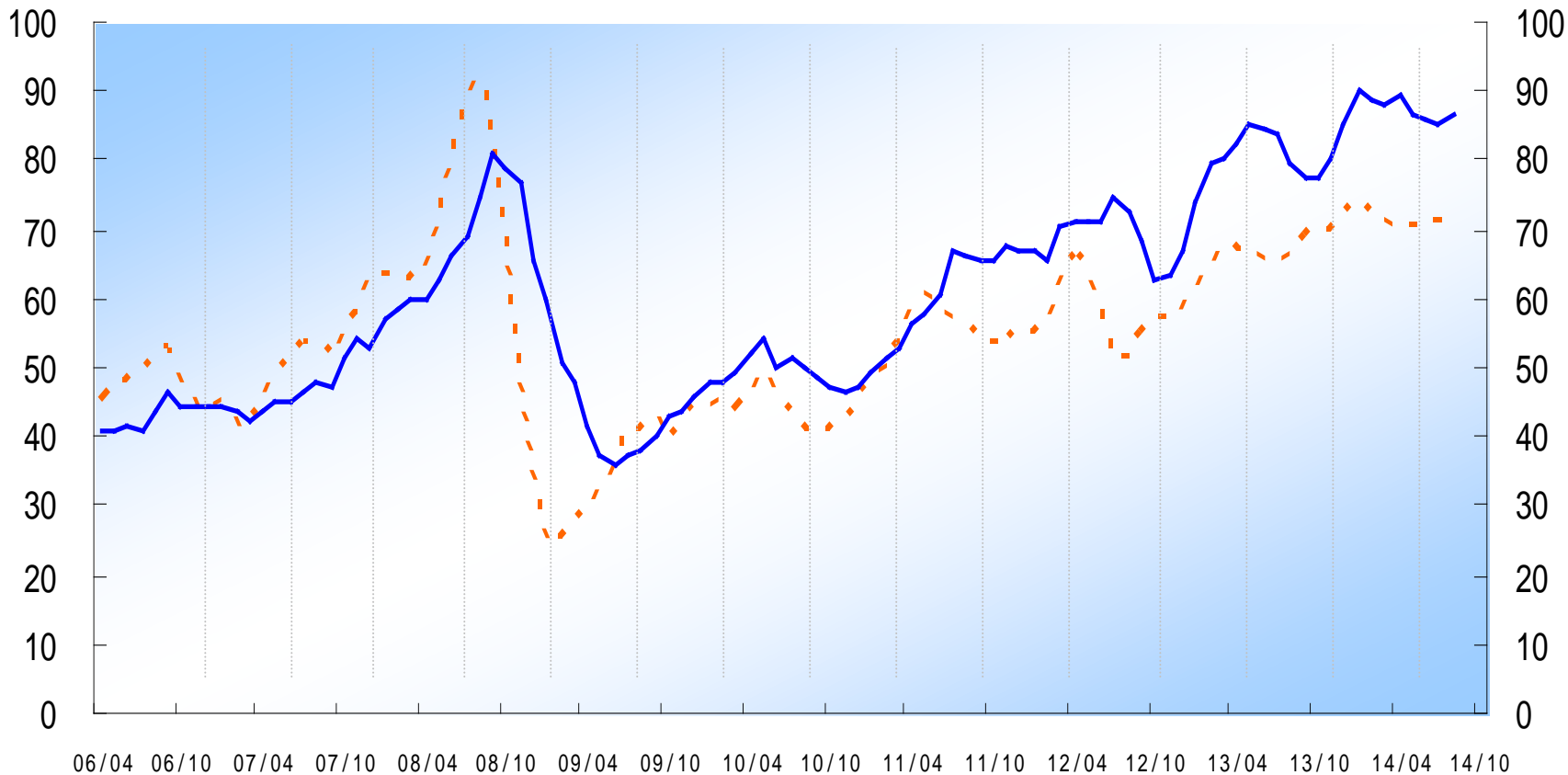
(単位:千ト)

品 種	2013年度上期 (旧両社合算ベース) (A)	2014年度上期 (B)	増 減 (B) - (A)
缶 材	318	310	8
箔 地	24	25	1
IT	8	14	6
自動車	34	32	2
厚 板	18	22	4
その他一般材	75	84	9
計	478	487	9
	( 国内市場向け 264 海外市場向け 214 )	( 国内市場向け 267 海外市場向け 220 )	( 3 6 )



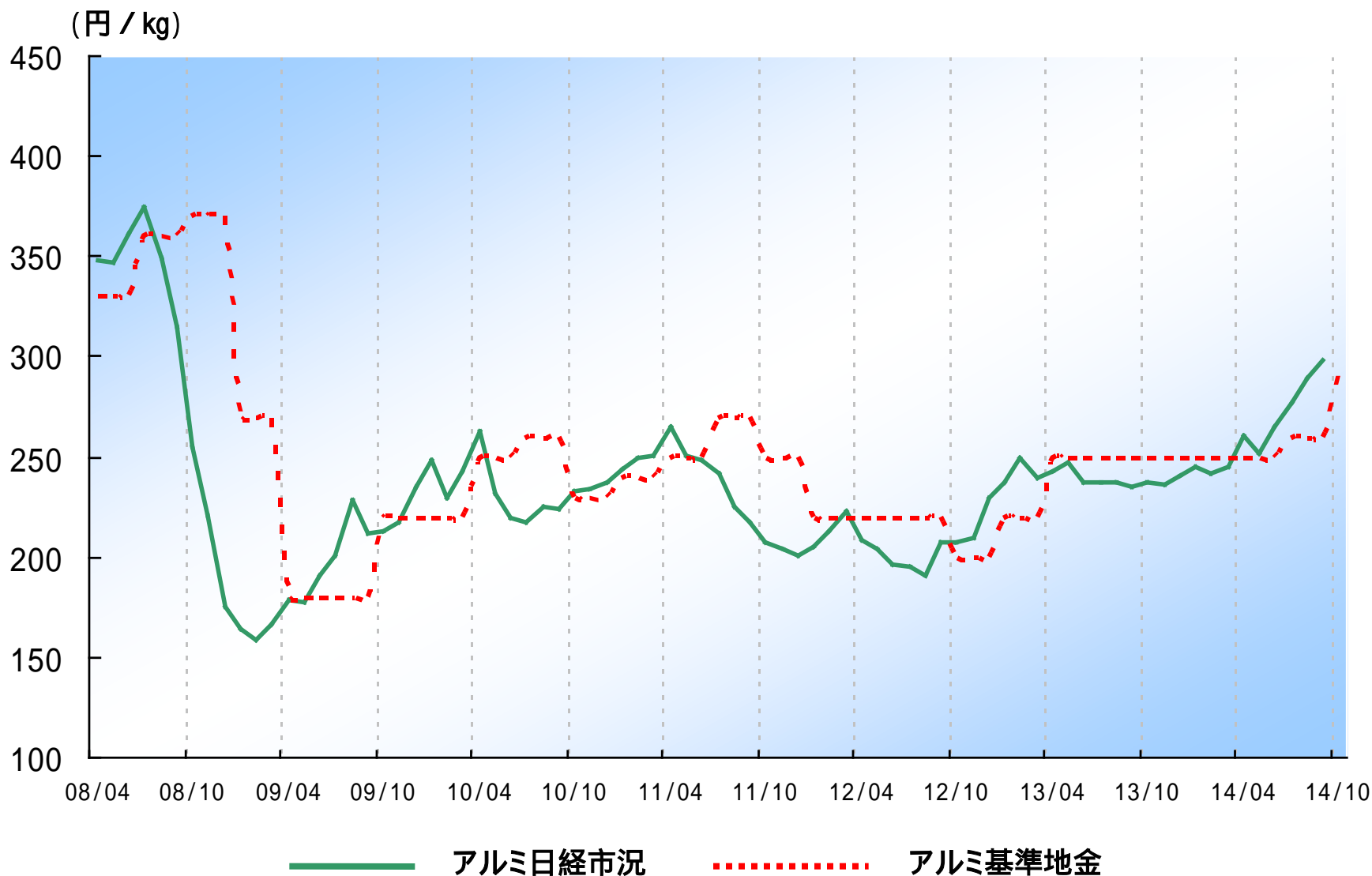
LNG CIF  
(円 / Kg)

原油CIF  
(円 / L)



———— LNG CIF (円 / Kg)     
 - - - - 原油CIF (円 / L)

# アルミ地金日経平均・アルミ基準地金



(単位:億円)

	2014/3末	2014/9末
自己資本 (億円)	1,555	1,591
自己資本比率 (%)	25.6	24.8
有利子負債 (億円)	2,563	2,821
D/Eレシオ (倍)	1.65	1.77
ROE (%)	7.7	6.7

旧両社合算ベース

# 設備投資・減価償却費

(単位:億円)

		2013年度上期 (旧両社合算ベース)	2014年度上期
設備投資	一般投資	47	52
	戦略投資	68	191
	合計	117	243
減価償却費		113	111
戦略投融资		3	-

## 2. 2014年度業績見通し

## 売上高5,800億円、経常利益230億円

- 自動車需要の減少傾向などにより、下期の販売面は先行き不透明
- 統合効果目標達成をはじめとする着実なコストダウン実現を目指すが、電力・燃料単価の上昇に伴うさらなるコストアップが見込まれるため、利益は減少傾向
- 一方、地金価格の上昇に伴う棚卸資産関係の影響により、経常利益は230億円と増益を見込む

## 期末配当 3円 / 株を予定

- 期末配当は、当初通り、3円 / 株を予定  
(中間配当3円 / 株、年間合計6円 / 株)

# 2014年度業績見通し



(単位:億円)

	2013年度 (旧両社上期合算 + UACJ下期) (A)	2014年度見通し (B)	増 減 (B) - (A)
連 結 売 上 高	5,349	5,800	451
連 結 営 業 利 益	250	265	15
連 結 経 常 利 益	215	230	15
連 結 当 期 純 利 益	117	105	12

# セグメント別売上高・営業利益見通し

(単位:億円)

	2013年度 (旧両社上期合算 + UACJ下期) (A)		2014年度 見通し (B)		増 減 (B) - (A)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
アルミ圧延品	4,201	252	4,636	268	435	16
伸 銅 品	479	8	534	14	55	6
加工品・関連事業	1,478	40	1,551	38	73	2
( 調 整 額 )	809	50	921	55	112	5
合 計	5,349	250	5,800	265	451	15



# 連結経常損益分析

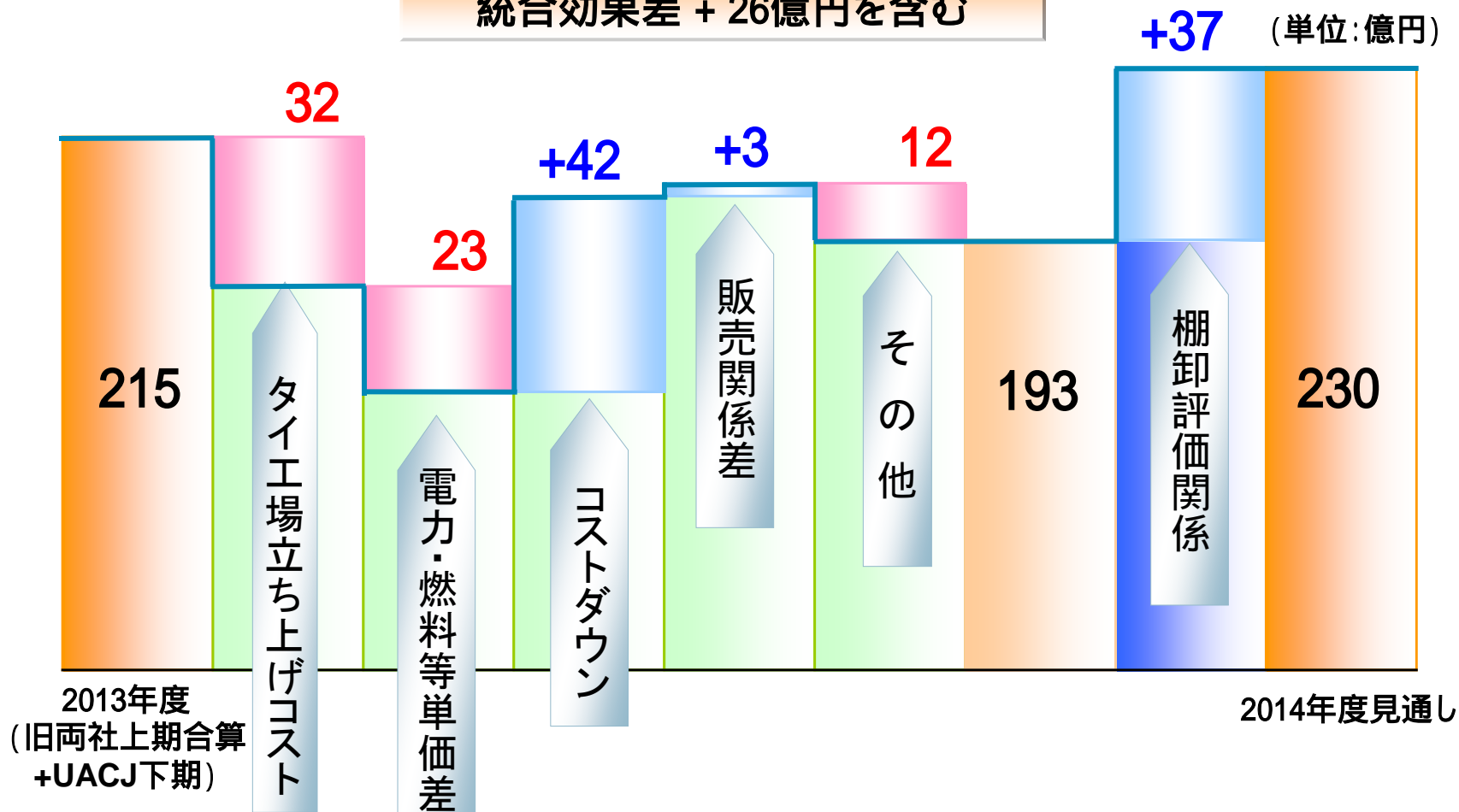
(2013年度 旧両社上期合算 + UACJ下期 2014年度 見通し)



215億 (2013年度 旧両社上期合算+UACJ下期)

230億円 (2014年度見通し)

統合効果差 + 26億円を含む



# アルミ板 品種別売上数量

(単位:千トン)

品 種	2013年度 (旧両社上期合算 +UACJ下期) (A)	2014年度 見通し (B)	増 減 (B) - (A)
缶材	632	624	8
箔地	48	49	1
IT	18	27	9
自動車	72	63	9
厚板	39	48	9
その他一般材	151	156	5
計	960	967	7
	〔国内市場向け 527〕 〔海外市場向け 433〕	〔国内市場向け 515〕 〔海外市場向け 452〕	〔 12 〕 〔 19 〕

## 3. トピックス

# 統合後 1 年間の主な歩み

## 統合関連

1月

- ・ UACJ製箔が誕生

4月

- ・ UACJ物流とエルコンポが合併

7月

- ・ UACJ金属加工が誕生
- ・ UACJコンポーネンツ深谷とニッケイ加工が合併

2013 2014

3月

UACJグループの  
将来ビジョンを発表



10月

- ・ 韓国のUPIAに資本参加

1月

- ・ UACJ Foil Malaysia Sdn. Bhd.が誕生
- ・ UACJ (Thailand) Co., Ltd. ラヨン製造所 第一期操業開始

## グローバル展開

7月

- ・ UACJ Trading (America) Co., Ltd. 営業開始
- ・ Constellium社との米国における自動車パネル用アルミニウム材共同事業について正式合意

8月

- ・ IWAI METAL CENTRAL MEXICO, S.A DE C.V. 操業開始

統合は順調に進捗

## 来年度の第2期操業開始に向けて順調に建設推進中

- 高品質とコスト競争力を両立するアルミニウム板製造のアジアにおける基幹工場。
- 第2期エリアの建家は完成。鋳造炉、スカルパー、ソーキング炉、熱間圧延ラインおよび冷間圧延機の設置工事も順調に推進中。
- 来年度からの本格的量産に向けて、評価材も製造中。  
缶材、ROM材においては顧客評価完了済みの材料もあり、量産への移行も進行中。



ラヨン製造所 工場全景



第2期エリアの建設も順調



量産への移行も進行中

- 自動車パネルのアルミ化が本格的に進んでいる米国において、自動車パネル用アルミニウム材の供給に関する事業をConstellium社と行うことを決定。7月には着工セレモニー（鍬入れ式）を実施。
- 投資額1.5億米ドルでケンタッキー州に、仕上げ連続熱処理ラインおよび表面処理ラインを新規設置予定。
- 冷間圧延コイルをTri-Arrows Aluminum Inc.のLogan工場と、Constellium社 Neuf-Brisach工場（フランス）より供給。
- 2016年第1四半期に生産開始し、生産能力10万トン/年の予定。

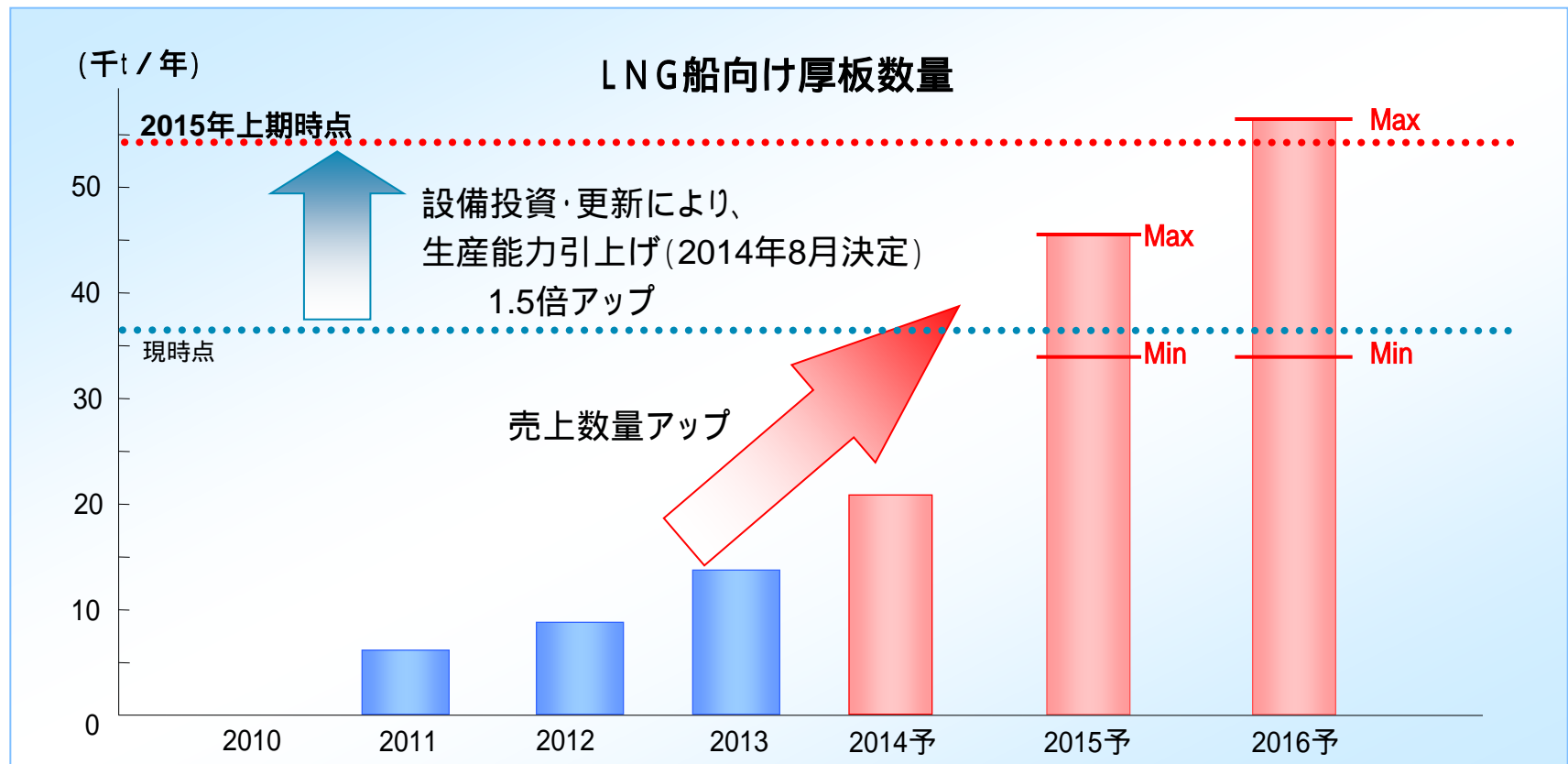


順調に整地が進んでいる工場建設用地

# LNG船向け厚板の需要動向

- 2017年から米国産シェールガス対日輸出開始
- 新建造LNG船は30隻前後の見込み アルミ厚板換算でおよそ120千トン
- モザンビークほかの新規プロジェクトにも期待

日本経済新聞・日本海事新聞より



## 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは今後様々な要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります。確約や保証を与えるものではないことをご承知おき下さい。また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

## 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料ならびにIR関係の問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

**広報IR部 TEL:03-6202-2654 FAX:03-6202-2021**

**URL: <http://www.uacj.co.jp>**

**(東証1部 コード番号:5741)**